

これまでの一般の部最優秀賞作品



梅津五郎芸術賞 第1回 全国絵画公募展
一般の部・最優秀賞
高田啓介氏《北国の冬（牛舎とサイロ）》



梅津五郎芸術賞 第2回 全国絵画公募展
一般の部・最優秀賞
榎原マス氏《漂着の行方（カイドコ）》

出品申込書

※点線部分を切り離して下さい。

※すべての項目をご記入願います。

梅津五郎・略歴

1920（大正9）年－2003（平成15）年



1920（大正9）年、山形県西置賜郡東根村（現在の白鷹町浅立）に生まれる。

1938（昭和13）年上京し、昼は絵の勉強、夜は姉の飲食店で手伝いをする生活を送る。1939（昭和14）年、帝展特選の洋画家である森田茂に師事し、次いで1941（昭和16）年、森田の師である熊岡美彦の絵画道場を紹介され、入門する。その甲斐もあり1943（昭和18）年、第11回東光展に《机上静物》が初入選する。しかし翌1944（昭和19）年には、戦争に召集され、画業は中断される。

戦後の1946（昭和21）年、第2回日展に、郷里の山形を描いた《秋》が初入選する。以後、東光会と日展が主な発表の場となる。1956（昭和31）年の第12回日展では、自らが働く中華料理店を描いた《調理場》が特選を受賞する。

1962（昭和37）年にはフランスに留学し、一転して色彩が豊かで鮮やかになる。1964（昭和39）年の第7回日展では、南仏を描いた《風景》が特選を受賞する。

浅草烏越から下落合に引っ越した1967（昭和42）年頃から、制作の取材のために日本各地に赴くようになる。滞欧期に培われた豊かな色彩感を活かし、極めて厚塗りのタッチで日本の風景を描く。

1980年代からは前述の日本各地の風景に加え、アトリエから見える街の風景や月を描いた作品が多くなり、新境地を示す。

東光会理事長、日展参与などの重責を担いながら、一方で売り絵を描かない、注文の絵は描かないという厳しい姿勢を貫き、市場の評価を犠牲にしながらも主要作品多数を手元に置いておいた。晩年、郷里の白鷹町に代表作など120点余を寄贈する。

2003（平成15）年、83歳で没する。



梅津五郎《建物（サクレクール寺院）》1967

山形県白鷹町が生んだ洋画家、梅津五郎画伯の偉業を称え、その功績を顕彰するため、梅津五郎芸術賞を創設し、全国絵画公募展を開催いたします。たくさんのご応募をお待ちいたします。詳細は、応募要項をご覧ください。

審査員

松田 茂
（日展会員・東光会副理事長）
番場 三雄
（日本美術院同人・東北芸術工科大学教授）
小林 俊介
（山形大学教授・博士＜芸術学＞・画家）

作品部門

一般の部（高校生以上）
小学生の部
中学生の部

応募申込 締切	2020年7月5日（日）17:00まで（当日消印有効）
応募作品 搬入	2020年9月1日（火）、2日（水）、3日（木）10:00～17:00

主催：梅津五郎芸術賞公募展実行委員会 共催：白鷹町文化交流センター 後援：白鷹町、白鷹町教育委員会

梅津五郎
生誕100年記念

2020年は梅津五郎の
生誕100年にあたります

梅津五郎芸術賞 第3回 全国絵画公募展

梅津五郎芸術賞 最優秀賞

一般の部 賞状並びに副賞

30万円（1点）

小・中学生の部 賞状並びに副賞

図書カード 5千円相当（小・中各1点
ほか）

応募要項

応募規定

作品部門 一般の部（高校生以上）
小学生の部
中学生の部

応募資格 国内に在住する方ならどなたでも。
但し、小学生・中学生は、山形県内在学生に限る。

作品規定 ①本人制作の平面作品（日本画、油彩、水彩、アクリル、版画、ミクストメディア等）に限ります。写真、コンピュータ・グラフィックス（CG）、印刷作品は不可。
材料の指定はありませんが、審査・展示などに適さない過度な重量物、突起物のあるもの、退色を起こしたり悪臭を発するもの、他の作品を破損したり有害な影響を与えるもの、法令・公序良俗に反する作品はご遠慮ください。
②出品作品は、過去 2 年間に制作されたもので、公募展未発表のもの。卒業・修了制作展及び学内発表、個展・グループ展に出品した作品は可（受賞作品は不可）。

作品サイズ 《一般の部》
20号～F50号（S40号）。
作品保護のため額装が必要です。但しガラス入りは不可、アクリルは可とします。展示に必要な金具類やヒモを装着してください。

《小学生・中学生の部》
四つ切画用紙（380mm×540mm）
額装は不要です。

応募点数 いずれの部門も、一人1点とします。

作品の使用権 本公募展の受賞・入選作品について、本展の宣伝広報のため、新聞・雑誌、TV、WEB 等に掲載・放映等の場合、著作権・作品使用権等は主催者に帰属するものとします。

出品料 一般の部 3,000 円
小学生・中学生の部 無料
一度納入された出品料は、いかなる理由があっても返金いたしませんので、予めご了承ください。

応募申込み方法

〔事前申込制〕

申込締切 2020 年 7 月 5 日（日） 17:00
（当日消印有効）

申込方法 《一般の部》
① **出品申込書の入手**
美術館等に配布の応募要項を入手するか、白鷹町文化交流センターのホームページからダウンロードするか、返信用切手 94 円を同封の上、応募要項を白鷹町文化交流センター内事務局までご請求ください。

② **出品申込書の提出**
応募要項に添付の出品申込書（提出用）に出品料を添えてお申し込みください。

・ **郵送の場合**
出品申込書（提出用）と出品料を同封の上、現金書留でお送りください。（応募締切日消印有効）

・ **持参の場合**
白鷹町文化交流センター内事務局に直接お申し込みください。代理申込の場合は、出品者の出品申込書（提出用）をご提示ください（コピー可）。

※ 運送業者による代理申込は原則受け付けませんので、ご注意ください。
※ 応募申込及び出品料のお支払いが完了していない場合は、作品の搬入は受け付けません。

《小学生・中学生の部》
別途学校を通じてご連絡いたします。

④出品作品の取り扱いについては十分注意をいたしますが、搬入・搬出中の事故、展示期間中、輸送時の破損等については、主催者及び委託業者は一切責任を負いません。必要と思われる方は、各自で保険をおかけください。
⑤ 搬入・搬出に関する費用は、すべて出品者負担になります。委託業者の手配等は出品者の責任で行ってください。業者の指定はありません。

搬入日時 《一般の部》
2020 年 9 月 1 日（火）、2 日（水）、3 日（木）
10:00～17:00
《小・中学生の部》
2020 年 8 月 25 日（火）、26 日（水）

搬入場所 白鷹町文化交流センター あゆーむ 内
「梅津五郎芸術賞公募展」事務局
〒992-0771
山形県西置賜郡白鷹町鮎貝 7331 番地
TEL. 0238-85-9071
FAX. 0238-85-9072

作品の搬出

選外作品の搬出 2020 年 9 月 17 日（木）、18 日（金）
10:00～17:00
① 場所は、搬入と同じ場所です。直接でも業者への委託でも構いませんが、搬出される際は、搬入時にお渡しした作品受領証をご持参ください。
② 指定日時に引き取りに来られない作品は、運送業者を通じて、梱包料・送料・代引き手数料等出品者負担でご返却します。

入選作品の搬出 展覧会終了後に、直接対象者にご連絡いたします。

お問い合わせ

白鷹町文化交流センター あゆーむ 内
「梅津五郎芸術賞公募展」事務局
TEL. 0238-85-9071
E-mail. shirataka@ayu-m.jp

※白鷹町文化交流センターのホームページもご覧ください。

表彰と副賞

一般の部 ◎梅津五郎芸術賞・最優秀賞
賞状並びに副賞 30 万円 1 点
◎優秀賞
賞状並びに副賞 7 万円 1 点
◎白鷹町長賞
賞状並びに副賞 5 万円 1 点
◎佳作
賞状 5 点
◎入選 約 30 点

小学生・中学生の部 ◎梅津五郎芸術賞・最優秀賞
賞状並びに副賞 図書カード 5 千円相当
小学生の部 1 点
中学生の部 1 点
◎優秀賞
賞状並びに副賞 図書カード 3 千円相当
小学生の部 2 点
中学生の部 2 点
◎入選 小学生の部 30 点
中学生の部 30 点

表彰式 2020 年 9 月 27 日（日）
白鷹町文化交流センター あゆーむ（ホール）

展示 2020 年 9 月 23 日（水）～10 月 11 日（日）
白鷹町文化交流センター あゆーむ（ギャラリー）
展示作品は、入選以上の作品とします。

審査と発表

審査 2020 年 9 月上旬に実施します。

発表 ① 審査結果は、本人に直接郵送で通知します。電話やメールによる問い合わせには応じられません。
② 審査に対する異議申し立ては一切受け付けません。
③ 結果発表後に、応募規定に反する事実が判明した場合は、入賞・入選を取り消すことがあります。

審査員

松田 茂 （日展会員・東光会副理事長）
番場 三雄 （日本美術院同人・東北芸術工科大学教授）
小林 俊介 （山形大学教授・博士〈芸術学〉・画家）

第 3 回 梅津五郎芸術賞公募展実行委員会

委員長： 橋本 満 弘（画家）
副委員長： 平 吹 信 彦（画家）

委員： 別 府 忠 雄（画家）
委員： 横 山 敏 彦（画家）
委員： 青 木 邦 明（工芸作家）
委員： 渡 辺 久 美（画家）

＜白鷹町文化交流センター＞
館長： 橋 本 淳 一
学芸員： 吉 川 明 紀

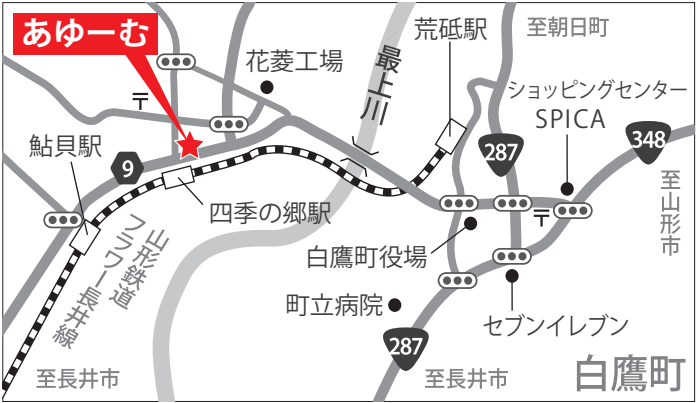
東京藝術大学参与、名誉教授、
日展理事、江戸時絵赤塚派十代継承

ありすみ
三田村 有純 作
トロフィー『円環』

第 1 回梅津五郎芸術賞公募展実行委員会の名誉実行委員を努めていただいた三田村有純先生特製のトロフィーです。朱漆塗に 18 金の金粉を蒔いた蒔絵。文字も手書きに金を蒔いたもの。丸い環の向こうにこの公募展の未来が大きく開けるように、大きな輪になって梅津五郎生誕の地白鷹町が発展するようにという意図を込めて制作していただきました。

本芸術賞のシンボルとして、応募作品の中の一般の部・最優秀賞受賞者に授与し、お名前を台座に刻んで継承いたします。 梅津五郎芸術賞公募展実行委員会

台座には、公募展最優秀賞受賞者 〈第 1 回〉高田啓介氏 〈第 2 回〉榊原マス氏のお名前を刻んであります▲



あゆーむ
白鷹町文化交流センター AYU:M

〒992-0771 山形県西置賜郡白鷹町大字鮎貝7331番地
■お車でお越しの場合／山形市より国道348号線で約35分
■電車でお越しの場合／赤湯駅より山形鉄道フラワー長井線〔荒砥行き〕で「四季の郷駅」下車（赤湯駅から約50分）徒歩約4分
お問合せ＝TEL.0238-85-9071